

認知症に関する活動計画（概要）

一般社団法人山口県作業療法士会では、「認知症支援委員会」として活動しております。定期研修を開催していましたが、2020年からのCOVID-19の影響により、活動を休止しておりました。今年度は、時期・テーマは未定ではありますが、対面研修を予定しております。

山口県の高齢化率は全国第3位であり、認知症を有する方やそのご家族をサポートする体制の構築や、行政・地域との関わりは必須であります。私たち作業療法士が地域と共生し、認知症の方やそのご家族が安心して暮らすことができる街づくりに寄与できる様にOTとしての実践力が高められる様な研修を企画しています。



行政、図書館スタッフとの打ち合わせ

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

これまで、周南市駅前図書館や下関市にて「認知症にやさしい図書館づくり」のイベントを開催しておりました。周南市では、行政、地域包括、図書館職員とコラボし市民への啓発活動や困りごとの相談窓口、認知症・介護予防体操など様々なイベントを開催しておりました。COVID-19の影響で生活習慣も大きく変わっていますので、地域の実情に応じた企画運営を予定しています。



認知症・介護予防体操

認知症の人と家族の会との連携事業

県内の18市町に担当者を配置し、行政や包括職員と連携を図り、出前講座や活動支援などに取り組んでいます。県内東部では、瀬戸内海に広がる島々に行政からの依頼を受けて介護・認知症予防の講和を行うなど、認知症の方と家族の会との関わりを通して顔の見える関係作りを行なっています。

人材育成研修（士会独自の取り組みなど）

当委員会は、県士会では地域共生社会推進部に所属し、他の部局と連携を図りながら人材育成をしております。これまで「地域リエイブルメント推進事業人材育成研修」と題した人材育成研修を行なっております。認知症の枠を超えて、地域で活躍する・輝けるOTを育成する事が目的です。地域初心者向けから地域実践者向けまでステップアップできる研修会です。

16年度 地域リエイブルメント推進事業人材育成研修 地域で輝くOTへ！リエイブルメント実践講座

～入院中から退院後までの支援の在り方～

地域作業療法の第一歩です

超入門的な内容	参加は誰でも	わが町の地域支援
今まで地域に出たことがない、知らない、わからない人のための研修を企画しました。 今年度の研修期間決定で、専門職が地域に出る重要性が改めて明文化されました。	参加対象者は全分野、全職種！ 急性期から生活期まで 身体障害、精神障害、老年、発達一応。 特に今まで地域に関わりがない方にはおすすめです	自分たちの身近な地域で作業療法士が活躍しています。 それぞれのどんなかわりがあるのか感じてください。 さらには自分たちに今後ができるか考えてみましょう！

令和6年8月30日（金）19:00～20:30

オンライン研修で開催